

関東教区「2025年度祈りの課題」

＊現住陪餐会員、礼拝出席、CS出席者の数は、2024年度(もしくは2023年度)教務・教勢報告によります。

【群馬地区】

まえはしきようかい

前橋教会：現住陪餐会員 112名、礼拝出席 71名、CS出席者 9名

前橋教会は来年(2026年)創立140周年を迎えます。この節目をどう迎えるかの話し合いを重ねています。「よい知らせ(福音)を伝えよう」との年間標語を定め、初代教会の原点に戻って伝道の働きをみんなで担っていきます。コロナ状況の中で始めたオンライン礼拝が、思いの外いろんな方に用いられていることが分かってきました。定時の礼拝は、オンラインの方も共におられることを意識しながら続けています。

まえはしちゅうぶきようかい

前橋中部教会：現住陪餐会員 21名、礼拝出席 10名、CS出席者 名

前橋中部教会は、堀江牧師が今年度末に辞任する予定です。奉仕者の数が少なく、財政的にも大変厳しいですが、教会員一人一人が奉仕を担えるように健康が維持されねように、そして、新しい牧師が与えられるように祈っていただきたいと思います。

たかさききようかい

高崎教会：現住陪餐会員 128名、礼拝出席 70名、CS出席者 9名

高崎教会は長期宣教計画として「全世代が安心して集うことのできる教会」を目指して具体的な方策を策定し実施していきます。また会堂建設から40周年を迎え会堂の整備、リニューアルに向けての検討を始めました。また立地に恵まれている教会として特にZ世代に向けての宣教について検討し関係学校との交流もより深めたいと願っています。どうか主の御心にかなった宣教となることを覚えてお祈りください。

たかさきみなみきようかい

高崎南教会：現住陪餐会員 28名、礼拝出席 13名、CS出席者 名

高崎南教会は今年4月に創立100年を迎え、創立の記念礼拝を守り100周年記念誌を出版することができました。会員の高齢化は進行していますが、今、私たちはこれまでの教会の歩みを確認しながら、これまで教会が保持してきた資料の整理や誕生日カードの送付先の再検討など、これまで手をつける余裕がなかったさまざまなことを少しずつ始めようとしています。これらの歩みが次の時代につながることを願っています。

きりゆうきようかい

桐生教会：現住陪餐会員 16名、礼拝出席 13名、CS出席者 名

桐生教会は1878年11月9日の創立で、群馬県で二番目に古い教会です。創立から歴代の牧師たちを中心に主日礼拝を守り続けてきました。その主日礼拝を、ヨハネによる福音書4章24節の御言葉「神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真実をもって礼拝しなければならない。」を共に大切にしつつ、心をこめて主におささげすることによって、3年後の桐生教会創立150周年に備えていくことができますように。

きりゆうとうぶきようかい

桐生東部教会：現住陪餐会員 39名、礼拝出席 25名、CS出席者 名

桐生東部教会は新会堂を含む認定こども園新園舎建築事業を進めています。全国の教会の皆様覚えていただき、お祈りと献金によってお支えいただいていますことを感謝致します。新園舎は2026年秋頃に完成予定ですが、地域に開かれた教会の働きを担える建物を建てられるよう事業を進めていきたいと思っています。現在、旧会堂は解体され、毎週日曜日の礼拝はこども園保育室で守っています。桐生東部教会の歩みを覚えお祈りください。

いずみちようきようかい

泉町教会：現住陪餐会員 30名、礼拝出席 15名、CS出席者 名

使徒言行録16:31の年度聖句と「家族の救いを祈りつつ歩む教会～110周年に備えて～」の年度主題を掲げて歩んでいます。「受洗者を生み出す」「教会の伝統(ホーリネス教会の良き伝統)を継承する」「伝道の拠点を整える」という教会の3本柱を覚えて歩み、創立110周年に備えられるようにお祈り下さい。

いせさききょうかい

伊勢崎教会：現住陪餐会員 49 名、礼拝出席 24 名、C S 出席者 1 名

東日本大震災被害による会堂建て替えのための教団からの借入金が返済途上ですが、順調にいけば 2025 年度中の全額返済完了が、視野に入ってきました。主の恵みと教会員一同の祈りと協力をもって、予定通りに完済できますように。また、貴い献金をお送りくださった方々に感謝するとともに主の祝福がありますように！

かんらきょうかい

甘楽教会：現住陪餐会員 66 名、礼拝出席 36 名、C S 出席者 8 名

年間聖句は「地は混沌であって闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。神は言われた。『光あれ。』こうして光があった。」（創世記 1:2-3）です。聖書の言葉が苦難の民の信仰を支えました。彼らを支えた聖書の言葉が傷つき病んだ現代世界を必死になって生きる全ての者にとって「希望の光」となることを信じます。この世界と私たちにとっての「希望の言葉」を分かち合いつつ、私たちに託された宣教の務めに励んで参ります。

おおたはちまんきょうかい

太田八幡教会：現住陪餐会員 21 名、礼拝出席 15 名、C S 出席者 2 名

2025 年度は代務体制となりました。今後の教会の宣教体制を整えるためにも、重要な一年となると思います。財政面や教勢面の課題を抱えていますが、新しい道が示されますよう覚えてお祈りください。

ぬまたきょうかい

沼田教会：現住陪餐会員 44 名、礼拝出席 11 名、C S 出席者 1 名

現在、東京在住の二人の教会員（幼稚園卒園生と元幼稚園教諭）が沼田教会の礼拝を共に守り、教会役員や幼稚園の理事や監事の働きを担ってくださっています。また昨年度から幼稚園卒園生親子が毎週の奏楽を担ってくださっていました。今年 4 よりそのお子さんが同志社大学神学部で 3 年編入しました。引き続き、卒園生である親が奏楽の奉仕を続けてくださっています。かつて沼田教会が恵泉幼稚園を支えていましたが、今は、かつての幼稚園関係者が沼田教会の働きを支えています。神さまの不思議な導きを感謝しています。

みどりのきょうかい

緑野教会：現住陪餐会員 41 名、礼拝出席 26 名、C S 出席者 4 名

- ・ 2025 年度の主題は「仲間と神と共に」です。
- ・ 子どもと大人が共に礼拝をささげる。・ 緑野教会だけではない。仲間がいることを意識する。
- ・ 家庭集会を再開したい。・ 仲間のために仕える。礼拝の応援やそれぞれが役割を担うこと。
- ・ 保育園の誕生者に子どもの教会からプレゼントを贈ります。

しづかわきょうかい

渋川教会：現住陪餐会員 35 名、礼拝出席 15 名、C S 出席者 38 名

こども食堂などの活動を通じて、教会がこの地にあることを証しすることが出来るようになりました。こうした地域活動を通じて礼拝へと足を運ぶ人が与えられますように。

たてばやしきょうかい

館林教会：現住陪餐会員 10 名、礼拝出席 11 名、C S 出席者 1 名

- ・ 主日礼拝を信仰生活の中心とし、折りが良くても悪くても、一人でも多くの地域の人々に対し、地道に福音を伝えて、礼拝に招かれるように。
- ・ 教会員の高齢化に伴い、会員相互の励まし・助けが行き渡り、教会の力が強められますように。
- ・ 次世代への信仰の継承を視野に、若い世代への伝道の取組みの充実が図られますように。

あんなかきょうかい

安中教会：現住陪餐会員 90 名、礼拝出席 49 名、C S 出席者 8 名

安中教会は、3 年後の 2028 年に創立 150 周年を迎えます。その記念年を目標に、新会堂（もしくは、礼拝設備を備えた教育館）建設に向けて動き始めました。過疎化に高齢化、教会員の減少、建築資材と人件費の高騰、マイナス面を挙げれば枚挙に暇がありません。それでも、百余年前に「新島襄記念会堂」を建立した信仰

の先達に対する、私たちなりの応答として、また、未来に向かって進む私たちの決意として、この事業に着手しております。spes est vigilantis somnium.（希望は目醒めたる者の夢なり）。

はらいちきょうかい

原市教会：現住陪餐会員 91 名、礼拝出席 20 名、C S 出席者 3 名

教区、地区の交わりと連帯の中で、支えられて生かされていることに感謝致します。原市教会は新年度、「見えるものではなく、見えないものに目を注ぐ」（コリントの信徒への手紙二、4 章 18 節）を標語聖句に掲げ、思い新たに歩み出しました。教会に連なる一人一人が礼拝出席と交わりを重視し、日々イエスとともに歩むこと、また聖霊の力によって日々成長させられていくことを、祈りもとめつつ歩んでまいりたいと思います。そして地域にあって、関係幼稚園と二人三脚で、御言葉の種まきをしてゆきます。どうぞご加祷ください。

まついだきょうかい

松井田教会：現住陪餐会員 名、礼拝出席 名、C S 出席者 名

松井田教会は、無牧師期間 3 年目に入りました。林原が引き続き代務牧師をします。毎週主日に、地区内の諸先生方に礼拝にお越しいただき、力強い説教をしていただいております。本当に感謝です。まさに地区の交わりの中に生かされております。松井田教会は、今年度もメンバー皆で力を出し合い一丸となって歩んでいきます。また地域の方々に向けて、「ふらっとカフェ（お茶の会）」「ミニバザー」などの催しを行い、伝道していきます。どうぞ松井田教会の発展のためお祈りください。

しまむらきょうかい

島村教会：現住陪餐会員 29 名、礼拝出席 15 名、C S 出席者 名

ご高齢こうれいの方々の健康けんこうと信仰しんこうが守られますように。また、信仰しんこうの継承けいしょうのために。教会きょうかいと保育園ほいくえんが地域ちいきへの宣教せんきょうの拠点として、用いられますように。

あがつまきょうかい

吾妻教会：現住陪餐会員 28 名、礼拝出席 21 名、C S 出席者 6 名

吾妻教会は 2024 年 5 月から無牧師の状態です。地区の様々な牧師先生方にお支えいただき、2024 年度を歩むことができました。2025 年度も無牧師の状態ですが、牧師招聘、牧師館のリフォームなど教会の課題に向き合いつつ、教会内でこれからの吾妻教会の歩みについて話し合っているところです。牧師招聘、牧師館のリフォームが神様のお守りの中で良き方向へ導かれますよう覚えてお祈りいただければと思います。

ぐんままちきょうかい

群馬町教会：現住陪餐会員 27 名、礼拝出席 19 名、C S 出席者 名

群馬町教会では、今年度より、主任牧師が交代いたしました。伝道所の開拓から、これまで教会の牧会を支えてこられた村田牧師が隠退され、正教師一年目の鶴崎に変わります。教会の運営が昨年度まで同様、神に喜ばれるものとなりますように、そして、神の言葉が正しく語られて、教会員がキリストの枝として一つに結ばれ、教会の歩みが神のもとに生かされたものになりますようにお祈りを願います。